

民間航空機基盤技術プログラム

～ 我が国航空機関連産業の基盤技術力の強化 ～

16FY(うち運営費交付金) 15FY(うち運営費交付金)
52.8億円(38.8億円) 51.5億円(21.1億円)

目的	欧米等先行諸国の他、アジア諸国も含めた競争激化が進む中、大きな技術波及効果によって環境をはじめ、情報、材料等の分野に高付加価値を生み出す航空機関連技術について、戦略的に研究開発を行うことにより、我が国航空機産業の基盤技術力の維持・向上を図る。
目標・効果	民間航空機関連技術について、2009年度までに、材料・構造・システム関連等の中核的要素技術力を一層強化・保持するとともに、機体及びエンジンの完成機開発能力を獲得する。また、こうした基盤技術力の維持・向上、これらを用いた航空機・エンジン等の国際共同開発への参画、並びに環境適合等の要請に対応した民間航空機及びエンジン開発への取組を通じて、我が国航空機関連産業の競争力強化を目指す。

施策パッケージのポイント

【主要プロジェクト】

1. 中核的要素技術

・材料・構造関連技術

エネルギー使用の効率化を可能とする航空機用の材料開発、部材成形、構造設計等に関連する要素技術として、高効率な複合材料成形技術、マグネシウム合金の成形技術、複合材の構造設計・健全性診断技術等を開発する。

次世代航空機用構造部材創製・加工技術開発 16FY (15FY)
7.0億円 (7.5億円)

・システム関連技術

機体及びエンジンの開発に不可欠な要素技術として、先進的な操縦システム・飛行制御システム・電子機器等に係る技術等を開発する。

航空機用先進システム基盤技術開発 16FY (15FY)
3.6億円 (3.1億円)

2. 機体・エンジンの完成機開発技術

材料・構造・システム単位による要素技術を活用し、機体及びエンジンの完成機開発のために必要な全機統合技術を開発・実証する。

環境適応型高性能小型航空機研究開発 16FY (15FY)
27.0億円 (10.0億円)
環境適応型小型航空機用エンジン研究開発 11.8億円 (2.5億円)
小型民間輸送機等開発調査 1.5億円 (1.2億円)
超高速輸送機実用化開発調査 2.0億円 (5.5億円)

【関連施策】

・国際共同開発への参画

研究開発成果の実用化等を図るため、国際共同による実機開発に対し、航空機工業振興法に基づき助成を行う。

政策上の活用等のポイント

(研究開発成果の政策上の活用)

プロジェクトを通じて得られた基盤技術、データ(複合材料の物理的特性等)等について、成果報告会、データベース等の一般提供等を通じ、可能な限り速やかに社会に普及し、民間主導による実用化、新技術への応用を促進する。

(政策目標の実現に向けた環境整備)

民間航空機開発推進省庁協議会(防衛庁、文部科学省、国土交通省及び経済産業省局長級による協議会(平成15年9月2日、第1回協議会開催))を設置し、研究開発の円滑な実施を図るため、関係省庁の連携を強化。

また、協議会の下に、各省庁の担当課長からなる幹事会も併せて設置。